

平成25年度 久留米市内単位互換協定校による

「共同講義」開講のお知らせ

テーマ「久留米の生活と環境」

受講料無料

久留米市では、市内にある5つの大学等が単位互換協定を締結したことにより、毎年多数の科目が公開され、学生の皆さんが他の大学等の講義を履修した場合に、所属する大学等の単位として認定ができるようになりました。

この単位互換の一環として、単位互換協定に参加している5つの大学等と久留米市とが連携して、毎年一つのテーマを設定し、各校の個性や特色を活かした講座を開講する「共同講義」を実施しています。

今年度は、「久留米の生活と環境」をテーマに、市民公開の共同講義として以下のように開講します。様々な視点から学ぶことができる貴重な機会ですので、意欲と関心のある学生・市民の皆様の多数の参加をお待ちしています。

日時▶ 2013年 10月8日～12月3日 18:30～20:00

会場▶ くるめりあ六ツ門 6F みんなる会議室1・2 (久留米市六ツ門3-11)

主催▶ 高等教育コンソーシアム久留米 **共催**▶ 久留米学術研究都市づくり推進協議会

10/8 久留米大学 経済学部 教授 藤田 八暉 (火) 環境の質の高い持続可能な地域社会の形成	11/12 聖マリア学院大学 看護学部(精神看護学) 教授 安藤 満代 (火) 終末期ケアとしての回想法
10/11 久留米工業高等専門学校 機械工学科 教授 藤田 雅俊 (金) 久留米の環境とモビリティ	11/15 久留米工業大学 交通機械工学科 教授 井川 秀信 (金) エンジニアとしての田中久重
10/15 久留米信愛女学院短期大学 幼児教育学科 講師 三原 信彦 (火) 『アート』と『表現』の意味	11/19 久留米工業大学 建築・設備工学科 教授 野々村 善民 (火) グリーンエナジーシティ構想(兵庫県加西市の事例)
10/18 久留米信愛女学院短期大学 フードデザイン学科 講師 生地 暢 (金) 『里海』の環境とその保全	11/22 久留米大学 経済学部 教授 世利 洋介 (金) 久留米地域における広域行政
10/22 久留米市環境部 環境保全課 課長 馬場 光義 (火) データから見る久留米市の環境の現状	11/26 聖マリア学院大学 看護学部(地域看護学) 講師 鮎川 春美 (火) 公衆衛生看護活動について
10/25 久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 准教授 笈木 宏和 (金) 微生物を用いた環境浄化	11/29 久留米工業大学 情報ネットワーク工学科 准教授 江藤 信一 (金) 食と情報-味の数値化によるおいしさへの探求-
10/29 久留米信愛女学院短期大学 ビジネスキャリア学科 講師 山下 永子 (火) 久留米のマーケティング戦略を考える	12/3 聖マリア学院大学 看護学部(基盤臨床看護学) 准教授 崎田 マユミ (火) ストレスと対処-困難な状況にある人間の反応と支援について考える-
11/5 久留米大学 文学部 准教授 上原 紀美子 (火) 生活保護と久留米市の財政	

※ 申し込み期間：9月8日(日)～各講義当日まで

全15回の講義を行います
(※講義詳細は裏面をご覧ください)

申込・お問い合わせ先

※ 学生の皆さんの履修や出願手続き等については所属校の窓口にお問い合わせください。(裏面に記載)

高等教育コンソーシアム久留米 サテライト・キャンパス事務局 〒830-0031 久留米市六ツ門3-11 くるめりあ六ツ門6F

TEL・FAX: 0942-32-7622 E-mail: kurume-sc@movie.ocn.ne.jp

ホームページアドレス: <http://www.consortium-kurume.jp/>

開催日	講師名 / 演題	講義内容
10/8 (火)	久留米大学 経済学部 教授 藤田 八暉 環境の質の高い持続可能な地域社会の形成	今日の環境問題は、これまでの物質的豊かさの追求に重きを置く考えと、大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会活動や生活様式から生じています。本講では、都市生活に伴う環境問題や、地球環境問題の現状等を説明し、環境の質の高い持続可能な地域社会を形成していくための取組について解説します。
10/11 (金)	久留米工業高等専門学校 機械工学科 教授 藤田 雅俊 久留米の環境とモビリティ	環境負荷の低減や、日本における人口構成の変化と、若年層の自動車離れに見られるように、パーソナルモビリティの在り方は今後一層の変容を見込まなければなりません。2012年に始まった国土交通省の超小型モビリティの可能性調査は、他のパブリックモビリティとの連担を踏まえ一層重点的な議論が求められてきています。
10/15 (火)	久留米信愛女学院短期大学 幼児教育学科 講師 三原 信彦 『アート』と『表現』の意味	人類は文明の発達と同時に「芸術」の分野において、さまざまな「表現」を行い続けてきました。古今東西の絵画・彫刻から現代アートまでを中心に鑑賞・展覧し、人はなぜ表現しようとするのか、その目的・意義は何か、という点について考察しながら、芸術の歴史と今現在のあり方について理解を深めます。
10/18 (金)	久留米信愛女学院短期大学 フードデザイン学科 講師 生地 暢 『里海』の環境とその保全	里海とは、人の暮らしと自然の営みが密接な沿岸海域を指します。里海とそこに流れ込む河川との関わりや里海で起こっている諸問題について考え、その環境を守るため、自治体・企業・地域住民がどのような取り組み・活動などが行われているかを紹介いたします。
10/22 (火)	久留米市 環境部 環境保全課 課長 馬場 光義 データから見る久留米市の環境の現状	久留米市の大気汚染、水質汚濁などの環境の現状について解説します。
10/25 (金)	久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 准教授 笈木 宏和 微生物を用いた環境浄化	環境汚染は長年の間多くの人を苦しめてきましたが、近年では微生物の力を借りることで改善する方法を見出してきました。環境汚染の歴史と、その取り組みについていくつかの例を挙げて解説します。
10/29 (火)	久留米信愛女学院短期大学 ビジネスキャリア学科 講師 山下 永子 久留米のマーケティング戦略を考える-グローバル化時代の生活と環境-	グローバル化が益々進展し、人・物・金等あらゆるものの行先になるための都市間競争が世界規模で激しくなっています。本講では都市の国際・マーケティング戦略の方向性を検討しつつ、未来久留米の豊かな生活と環境について考えてみます。
11/5 (火)	久留米大学 文学部 准教授 上原 紀美子 生活保護と久留米市の財政	近年、生活保護受給者が急増しています。生活保護受給者が増えると自治体の財政を圧迫するというのは本当でしょうか。私たちの生活を支えている生活保護制度の重要性について今一度確認したうえで、生活保護と自治体の財政がどのような関係にあるのか考えていきます。
11/12 (火)	聖マリア学院大学 看護学部(精神看護学) 教授 安藤 満代 終末期ケアとしての回想法	回想することは、心のケアに繋がっていきます。今回、私どもがやってきた終末期ケアとしての回想法についてご紹介し、みなさまにも日常で利用できる簡単なものを試してみましょ。
11/15 (金)	久留米工業大学 交通機械工学科 教授 井川 秀信 エンジニアとしての田中久重	平成25年は、田中久重が大阪・京都で成功して、故郷久留米に戻り久留米藩に召し抱えられて以来150年を迎えます。田中久重はからくり儀右衛門として親しまれていますが、エンジニアとして幕末から明治期の日本の産業を支えてきました。本講義では、エンジニアとして見た彼の功績を紹介いたします。
11/19 (火)	久留米工業大学 建築・設備工学科 教授 野々村 善民 グリーンエナジーシティ構想(兵庫県加西市の事例)	本講座では、兵庫県加西市が策定したグリーンエナジーシティ構想の概要について紹介いたします。現在、電力の固定価格買取制度により、太陽光発電が加速的に普及しています。一方、不公平な売電が社会問題となる恐れがあります。これに対応するために、必要となる都市インフラと住宅レベルの基礎知識を解説します。
11/22 (金)	久留米大学 経済学部 教授 世利 洋介 久留米地域における広域行政	久留米市と周辺自治体との間で多様な連携が、「定住自立圏ビジョン」の下で展開されています。交通、観光、産業育成、文化振興、等の面で、特に行財政の側面でのどのような協力関係が現在、進捗しているのか、という点を紹介し、点検・評価してみます。
11/26 (火)	聖マリア学院大学 看護学部(地域看護学) 講師 鮎川 春美 公衆衛生看護活動について	みなさん、地域住民全体の健康づくりに関わる保健師の活動をご存知ですか？今回は、行政で働く保健師の活動についてご紹介いたします。みなさんの健康づくりと繋げてみてください。
11/29 (金)	久留米工業大学 情報ネットワーク工学科 准教授 江藤 信一 食と情報-味の数値化によるおいしさへの探求-	五感を使って楽しむ食事です、味の数値化技術の発展により少しずつ「おいしさ」も変わりつつあります。味覚に関する知識から、味の数値化を実現した味覚センサの話、さらにそれを使った事例を紹介して「おいしさ」の探求、食と情報について考えていきます。
12/3 (火)	聖マリア学院大学 看護学部(基盤臨床看護学) 准教授 崎田 マユミ ストレスと対処-困難な状況にある人間の反応と支援について考える-	ストレスは私たちの生活のなかで身近な言葉です。ストレスフルな状況をすべて解決することは無理かもしれませんが、うまく対処するための方法や理論を知るとは、困難な状況を乗り越えるヒントになるかもしれません。自分にとってのストレスと対処について考えてみませんか。

開講時間 18時30分から20時00分 **申込期間** 9月8日(日)～各講義当日まで

開催会場 くるめりあ六ツ門 6F
みんくる会議室1・2
(久留米市六ツ門3-11)

出願手続 学生の皆さんの履修や出願手続等については、所属校の窓口にお問合せください。

- ★ 久留米大学 御井学舎事務部教務課 TEL: 0942-44-2071 / FAX: 0942-43-4413
- ★ 久留米工業大学 学生サービス課 TEL: 0942-22-2345 / FAX: 0942-21-8770
- ★ 聖マリア学院大学 教務課 TEL: 0942-35-7271 / FAX: 0942-34-9125
- ★ 久留米信愛女学院短期大学 教務課 TEL: 0942-43-4532 / FAX: 0942-43-2531
- ★ 久留米工業高等専門学校 学生課 TEL: 0942-35-9314 / FAX: 0942-35-9319

市民の方は受講無料。お申込みは、以下のサテライト・キャンパス事務室までお願いします。

サテライト・キャンパス事務室 TEL/FAX: 0942-32-7622 E-mail: kurume-sc@movie.ocn.jp

